リアにマウントしたニューPU、ジャクソンJ-120は、モデル7のために開発されたテリー専用バージョン。
派手さはないが、アクティヴなプレイヤーにこそ、手にしてもらいたい。

TELLY BODY

ヴィンテージフィーリングが漂う、テリージェイプは、Model-7専用ボディだ。もちろん、ボルトオン・シャーベルのセオリーどおりバスウッドを、またタバコサンバーストフィニッシュにはセンを採用しており、専用PUの特性も手伝って、シャーベルラインナップ中、最も高音域にアクセントを持つトーン キャラクターだ。シャーベルでは初めてのボディ・バインディングも、その独特なトラディショナルセンスをシブくアレンジしてくれる。

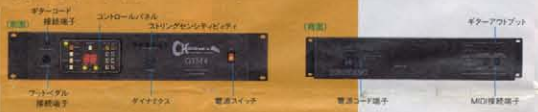
J-120 PICKUP

Model-7のトーン・キャラクターを決定づけ、よりその特性を極めているのが、J-120PUだ。ハイフリケンシー特性に優れ、オーソドックスなテリーフィーリングを残しつつ、比較的高いアウトプットを得るよう設計されている。

GTM-6 (GUITAR SYNTHE. MIDI CONVERTER) 世界最速のトラッキングタイムを誇るシャーベルミディギターシステム 最大16台の音源を、ギターの持つ6本の弦でコントロール。

ステレオコード1本でギターと繋ぐ、ミディコントロールシステム、GTM-6。このミディ時代に、ギタリストのパフォーマンスを限りなく拡げるコンバーターシステムだ。タイムラグを大幅に減少し、トラッキングを極限まで正確にした圧電式PUをトレモロユニットにビルトイン、ミディコントロール用として取付てなく、ノーマルなPUとしても大きなパフォーマンスを持っており、ギター1本で、ミディ音源、マグネティックPU、圧電式PUの3種類のトーンを同時に鳴らすことも可能だ。

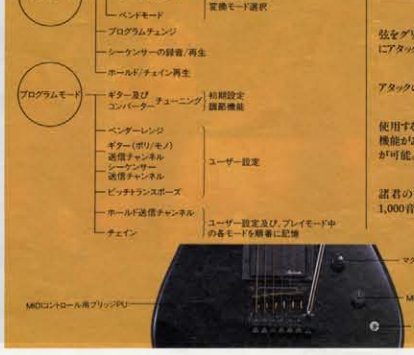
シャーベル GTM-6
¥230,000
(フットスイッチ、MIDIコード、ステレオコード、電源コード 附属)



GTM-6 おもな機能

GTM-6の機能を大きく分けると、fig.1の様になる。プレイ/プログラムモード切替スイッチで、いずれかのモード状態で使用するわけだが、諸君がこのGTM-6を購入してくれた直後に必ず行なわなければならないのはfig.1で表わす「初期設定」だけ。MIDI最少システム(MIDI音源1台のみ)であれば、プレイモード状態で今まで通りプレイするだけでMIDI音源が扱える様ファクトリープリセットがなされているのだ。それでは具体的にfig.1のそれぞれの機能について説明して行こう。

fig.1



フットペダルのレコード&プレイスイッチはMIDI音源からでる音のON&OFFスイッチになります。

調節機能

1 オートデジタルチューニング
本体のディスプレイ表示を見ながらA=440Hzのレギュラーチューニングが出来、また440Hzの上下半音づつの範囲内でギターのチューニングをコンバーターに記憶させることも可能だ。

2 ストリングセンシティヴィティ
プレイヤー諸君のピッキングの強弱に合わせ、各弦独立して感度調整を行う。

3 ダイナミクス
ソフトなピッキングからハードなピッキングまでタッチセンスを調節する。

4 ベンドレンジ
ベンドレンジは2通りの切換ができ、あらゆるMIDI音源にも対応。

プレイモード機能

1 トリガー
弦をグリッサンドした時に半音づつにアタックが生かる。

2 クァンタイズ
アタックのないグリッサンドを行う。

3 ベンド
使用するMIDI音源にベンドの受信機能があればベンド(チョーキング)が可能。

4 シーケンサー
諸君の指意なフレーズやリフを約1,000音までリアルタイムで録音/再生、またこの機能を利用して多重演奏も可能。

5 サスティーン
付属のフットペダルのホールドスイッチを踏めばサスティーン効果が得られる。

プログラム機能

1 ストリングプログラム
全弦、または各弦別々にMIDIチャンネル1~8のいずれかにプログラムが可能。

2 トランスポーズ
各弦に対応するMIDI音源の音程を上下3オクターブまでトランスポーズ。

3 多重奏
2台以上、あるいは1台でも複数のMIDIチャンネルが同時に使える音源があれば違った音色で同時にプレイしたり、シーケンサー機能を利用して違った音色での多重演奏も可能。

4 ホールド
付属のフットペダルのホールドスイッチを踏めば、踏む直前に発した音をその音程で持続させることが可能。

5 チェイン機能
付属のフットペダルのチェインスイッチを踏めば、コンバーターと連動してMIDI音源のプリセット音を変えられる。ただしGTM-6のディスプレイ表示は構造上11からの8進数となり10進表示の音源では次の様に対応。

GTM-6	MIDI音源
11 ~ 18	1 ~ 8
21 ~ 28	9 ~ 16
31 ~ 38	17 ~ 24
41 ~ 48	25 ~ 32

コントロールパネル

MODEL-7 ¥70,000

● BODY:ボディ:バスウッド(タバコサンバーストフィニッシュはセン) ● NECK:ネック:メイプル/ボルトオン ● FINGERBOARD:フィンガーボード:メイプル/22F ● MACHINEHEAD:ペグ:ジャクソンSG-38 ロック ● NUT:ナット:エノリック ● FRETWIRE:フレット:ロックウェル C6/プライヤル171 18%ニッケルシルバー配合 ● FRETSIZE:フレットサイズ:11EX.11EX.5IX.37 ● PICKUP:ピックアップ:J-120EX.J-120EX ● CONTROL:コントロール:ボリューム1X トーン1X 3ウェイセレクタースイッチ1X ● FINISH:フィニッシュ:ブラック/パールホワイト/キャンディアップルレッド/エレクトリックブルー/タバコサンバースト

ORIGINAL FEATURES

世界のトップアーティストを唸らせたシャーベル独自のアイデアの数々。トップブランドと呼ぶにふさわしいそのディテールの全貌。

コンコルドヘッドストック

コンコルドヘッドとして、一大ムーブメントを巻き起したジャクソンヘッドストック。Mr.グローバー・ジャクソンのデビュー作となるランディー・ローズモデルのために、そのたいそれなセンスによってデザインされて以来、今やそのオリジナリティは、シーンに完全に定着してトラディショナルスタイルとして誰もが認め、同時に世界中で最もコピーされるヘッドデザインになった。

ジャンボフレット

18%ニッケルシルバー配合のジャンボフレットワイヤーは、プライヤル171(プライヤルは、硬度を表わすもの、数字が高いほど硬く、ノーマルなフレットは140程度のものを使用)なる極めて硬質な素材。あらゆるプレイに適した高さとアタッキーなサウンドを生み出す硬さは、シャーベルならではの選択だ。

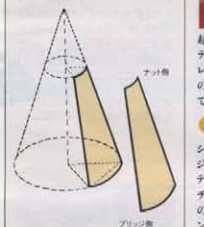
両端のエッジも約72°の角度を与えられ、立てるように仕上げられており、過激なヴィブラートや1弦での3連トリルなどのプレイでも、弦落ちの心配など全くない。

ラグ

優れたギターとして評価される条件に、完璧なシールディングが挙げられるだろう。シールド効果の優劣によってステージングや、スタジオワークでのメンタルな部分でのプレイアビリティが左右されるからだ。シャーベルギター&ベースではもちろんパーフェクトなノイズ対策を施している。それぞれのPUキャビティ化、コントロールキャビティには、LUGと呼ばれる小さな金属プレートを固定し、配線されており、ギターの全体的なシールドを完璧なものにしている。ハイクオリティなPUやサーキットも、これだけのシールディングフォローによって活きてくるわけだ。

コニカルフィンガーボード

現在もシャーベルがNO.1であり続ける理由は、この超ワイド&フラットなフィンガーボードと、よりプレイビリティを向上させる超薄型ネックだ。トップミュージシャン達をドラッグ漬けのごとくにさし、満足させてしまったこのシャーベルのオリジナリティの秘密は、ローポジションと、ハイポジションでのプレイアビリティの差を追及した、コニカルフィンガーボード、円錐の側面をネックの幅で切り取る様に、ナット側/300Rから、ジョイント側/400Rと、ハイポジションに向かって、よりフラット化している。



2ウェイトラスロッド

超薄型ネックを実現した究極のアイデア、2ウェイトラスロッド。ロッドとプレートで構成され、従来のトラスロッドの様に湾曲させず、ストレートな形状で使用できる優れものだ。ロッドとプレートは、互いに異方向へ力が作用し、アジャスト後正時のレンチへのプレッシャーを減少、より細かく正確な調整を可能にした。

ジャクソンビック・アップシステム

シャーベル全機種にマウントされる、ジャクソンPU。各モデルのボディマテリアルや、コンストラクションとのマッチングを追求し、モデルごとに独特のトーンキャラクターを与えている。コンピューターを駆使したボディ化の相性度のチェックはもちろん、トップミュージシャン達の意見の吸収などを経て誕生したのPUは、ジャクソンの誇るスタッフ達の音楽に対する極めてメンタルな姿勢が反映され、完成度に磨きをかけているのだ。

ボディマテリアル

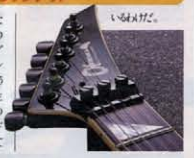
シャーベルのボディには基本的に、バスウッドとポプラの2種類が使いわけられる。弦振動がボディに伝わり、確かなサスティーンが得られるべく選択された、シャーベルギターメイキング中、最も重要なファクターだ。両材とも甘くまろやかな中音域特性を持ち、アルダー材(音響特性が広範囲で優れ、ギター材として古くから使われる)に類似しており、しかもアルダーより軽量とあってプレイアビリティ面でもメリットが大きい。特に、アジャ・ホールズワースのオーダーによって初めて使用したと言うバスウッドは、中音域のボリューム感がズバ抜けており、テストしたMrジャクソンも驚くばかりであったとのこと。品質の安定性も、シャーベルサウンドの確保には欠かせないポイントだ。

スカーフジョイントネック

極度に薄く仕上げたシャーベルのネックに、抜群の耐久性を与えたスカーフジョイント方式。プレイアビリティ重視によって設計されたとは言え、強度面を無視することは許されない、Mr.グローバー・ジャクソンの緻密な計算により、極薄と、耐久性を両立したのがこれだ。ネックの形状を横から見ると、一般的に最も薄くなっているがローポジション付近、そこでヘッドストックとネック部分を斜めに継ぎることで1ピースネックを大きく上まわる強度を得たのだ。弦のテンションによるネックのねじれにも、メリットがありメンテナンス性も向上している。

フェノリックナット

フェノリックと言う新素材を採用したナット。音響特性に優れ、弦のすべりも極めてスムーズ、派手なアーミングや、チョーキングなどでも、チューニングの狂いはほとんど押えてしまう言う逸材だ。また、加工もイージーで生産行程上でもムラなくハイレベルでの品質の安定が可能。シャーベルギターの高い完成度の一要因となっている。



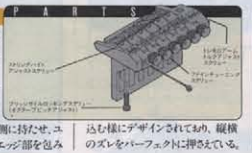
●FINISH OPTIONS

MODEL \ COLORS	BLACK	PEARL WHITE	VINTAGE IVORY	RED	CANDY APPLE RED	ELECTRIC BLUE	COBALT BLUE	BLACK CHERRY	BURGANDY MIST	BLUE BURST	CHERRY BURST	TOBACCO SUNBURST
1	○		○	○								
1A	○		○	○								
1C	○		○	○	○							
2	○	○		○	○	○			○			
3	○	○		○	○	○			○			
3A	○	○		○	○	○			○			
3DR	○	○							○	○	○	
3L	○	○							○			
4	○	○		○			○	○	○			
4A	○	○		○	○	○	○	○	○			
4M	○	○		○	○	○	○	○	○			
5	○	○		○			○	○	○			
5A	○	○		○	○	○	○	○	○			
6	○	○		○			○	○	○			
7	○	○		○	○	○	○	○	○			○
1B	○		○	○								
2B	○	○		○	○	○			○			
2BL	○	○		○	○	○	○	○	○			
3B	○	○		○	○	○	○	○	○			
4B	○	○		○	○	○			○			

BRIDGE SYSTEM シャーベルのトレモロユニットは個性にあわせた4タイプ。君達の頑固なアーミング思想への対応も万全だ。

ケーラー ファルクラム

ハイクォリティなローラーブリッジによる、センシティブなトレモロフィーリングをフィーチャーした、フローティングタイプトレモロユニットをスタッドボルト側に持たせ、ユニット側接点は、そのエッジ部を包み込む様にデザインされており、緩慢のズレをパーフェクトに押さえている。

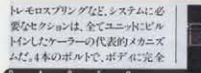


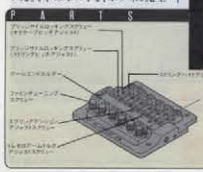
3スプリング ファルクラム

そのシンプルなルックスだから、ワイドなベンドレンジと、鋭いアーミングレスポンスを備え、またシンクロナイズドトレモロのナチュラルなテンション、豊かなサスティンなどのメリットを合わせ持つトラディショナルスタイルのシステム。テクニシャンのみ理解できる、大人の味も見逃せない。

ケーラー スタンダード

トレモロスプリングなど、システムに必要なセクションは、全てユニットにビルトインしたケーラーの代表的メカニズムだ。4本のボルトで、ボディに完全密着し、サスティーン面での完成度もパーフェクト、卓越したピッキングレスポンスに注目。





ジャクソン ロッキングトレモロ

優れたフローティングタイプ。ファインチューナーナブを、ストリングロックタイプにビルトインし、プレイ中のチューニングのズレなどのトラブルを追放。

フロイドローズのラインセンスにより、Mrジャクソンが彼独自のアイデアでリファインしたこのシステムは、アーミングレスポンスの

テリー ブリッジ

ギター用ブリッジとしては、シャーベル中、唯一のアームレスタイプだ。ボディバックから弦を通すことで、サスティーンやテンションフィーリングは絶品。Model-7にのみマウントされるこのユニット、ジャクソンJ-120PUとのコンビネーションで、アタッキーでツヤのある高音が特徴。

ベースブリッジ

サスティーンの確かさ、一音一音の芯のタイト感、ベースギターに要求される一連の条件は楽器としての真の基本性能につきる。豊かなサスティーンを生み出す独自の質量、音の分離性を追求した形状など、あらゆるジャンルのベースistのベストなマッチングを果たすと言う基本姿勢こそが、シャーベルベースのコンセプトだ。